

# 補助金対象事業報告書(平成25年度)

団体名	特定非営利活動法人まちの塾フリービー (平成 25 年 1 月設立)
事業名	中高生向け学習支援普及のための保護者教育事業
事業(該当区分に )	1. <u>活動促進事業</u> 2. 協働事業 3. 若者活動事業 4. 地域活動チャレンジ事業

## 1 事業の目的

目的	すべての子供たちが平等に教育を受けられるよう、中高生の学習支援を無料で実施しています。生徒や保護者との個別面談などで多くの家庭において、貧困、不登校、発達障害など、それぞれの家族がそれぞれの深刻な事情を抱えていることがわかりました。この現状を乗り越えるために、保護者の方を対象とした保護者教育の場を作り、多様化した現代社会の様々な事情に応える対応を保護者と共に進めて行くことを目的としています。
----	---

## 2 事業の実施状況

	事業計画	事業実施結果
実 施 状 況	<b>実施対象者・対象人数(延べ人数)</b> フリービー保護者会:保護者及びその家族、支援者など 10名×3回 教育公開講座:保護者一般、教育関係者など 50名×2回(延べ130名)	<b>実施対象者・対象人数(延べ人数)</b> 保護者講座(全2回):保護者及びその家族、支援者など 30名 教育公開講座(全3回):保護者一般、教育関係者など 約65名(延べ95名)
	<b>実施内容</b> ・フリービー保護者対象講演会 3回 講演後、社会福祉環境、発達障害、教育などについて、専門家による相談会も開催します。 ・教育公開講座(一般公開、講演会) 2回	<b>実施内容</b> ・フリービー保護者対象講演会 2回 「子どもの成長と地域の福祉環境を考える」「現代の子育て環境と教育について」 ・教育公開講座(一般公開、講演会) 3回 「Dr.ジョージのやる気スイッチの入れ方」「ストップ!児童虐待&ドメスティックバイオレンス」「シニア世代にできること。子どもたちの未来のために」
	<b>実施場所</b> 全て永福和泉地域区民センター	<b>実施場所</b> 永福区民センター・あんさんぶる・NPO支援センター会議室×2回・高井戸区民センター
	<b>実施回数・スケジュール</b> 全5回 ・保護者対象講演会:8月1日、12月19日、3月20日 ・教育公開講座:9月19日、1月30日	<b>実施回数・スケジュール全5回</b> ・保護者対象講演会 第1回2013年8月1日、第2回2013年12月6日 ・教育公開講座 第1回2013年11月29日、第2回2014年2月1日、第3回2014年3月26日
	<b>実施体制(従事した人員数・設備等)</b> 設備:プロジェクター、スクリーン、PC、音響、講演マイク、ピンマイク、スタンドマイク スタッフ:13名(保護者への連絡、当日の資料制作、受付役員、講師担当役員)	<b>実施体制(従事した人員数・設備等)</b> 設備:プロジェクター、スクリーン、PC、音響、講演マイク、ピンマイク、スタンドマイク スタッフ:13名(保護者への連絡、当日の資料制作、受付役員、講師担当役員)
自 己 評 価	<b>事業は当初の予定どおり実施できましたか。</b> ほぼ当初の構想が実現できたと思います。保護者については、仕事の時間や家庭の事情があり講演会前に講師の先生に対応いただくこともあり、時間の工夫が必要だったと感じました。	
	[自己評価] <input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった	

### 3 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

	事業計画時	事業実施後
効果・成果 及び 自己評価	<b>当初予定したニーズがありましたか。</b>	
	すべての子供たちが平等に教育を受けられるよう、中高生の学習支援を無料で実施しています。本年設立後、公益社団法人東京福祉会の協力もあり、口コミで生徒は増加しています。生徒や保護者との個別面談などで多くの家庭において、貧困、不登校、発達障害など、それぞれの家族がそれぞれの深刻な事情を抱えていることがわかりました。この現状を乗り越えるために、保護者の方を対象とした保護者教育の場を作ることが必要だと考えています。	地域のスクールソーシャルワーカーや保護者の方々からの質問が相次ぎ、多くの様々な問題があることを実感しました。専門家の講演を聞くことによって新たな知識と情報を得る機会となったのではないかと思います。また、講演会に参加いただいた方を通してフリービー教室で学習を始めた生徒たちがおります。このように地域や保護者の方々に活動へのご理解いただくことによって、地域のニーズの掘り起こしにつなげることができると実感いたしました。
	〔自己評価〕	
	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> 概ねあった <input type="checkbox"/> あまりなかった <input type="checkbox"/> ほとんどなかった	
	<b>地域の特性を活かした活動になりましたか。新たな問題提起ができましたか。</b>	
	杉並区は教育水準が概ね高く、多くの子供達が進学を前提に塾や予備校に通っています。しかしその影には、不登校や引きこもり、発達障害など特殊事情を抱えた子供たちも多くいます。そのような事情を抱えた子供たちも、お金を払えば、一般の塾に入ることはできますが、どうしても一般の子供と同じような成果が見込めないのが現状です。特殊事情のある子供たちにも学ぶ楽しさを知ってもらい、学校生活を楽しくしてもらうために、特殊事情を考慮した上で発達にかかわる様々な面で保護者とも力をあわせていきたいと考えています。	杉並区も他の地域同様、経済格差が学力の格差に大きな影響を与えています。特に杉並区は高所得者が多く教育水準は概ね高いと言われる中、経済的基盤の弱い母子家庭や、生活保護家庭の保護者たちに、経済支援だけでなく様々な子育ての情報を与え知識を増やすことが、次世代教育において負の連鎖を断ち切る一つの機会になったと考えています。その意味では、今後も地域の支援者を含めた広い意味での保護者教育を続けていきたいと思っています。
	〔自己評価〕	
<input checked="" type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった		
<b>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</b>		
保護者の子供の現状への理解が進むということは、子供が家族から見守られるという実感が高くなります。家庭が社会の第一歩の入口と考え、家庭こそが子供が安定して育つ基礎になります。家族との良好な関係が築けたら、次は学校や周囲との信頼関係も築きやすくなると考えています。また、特殊な子供の現状について、親が正しく理解することができると、子供の将来についても早くから考え、対応することができます。また、地域社会にある様々な情報を積極的に取得し、サービスを受けやすくなり、子供の将来に役立てることが出来ます。	子どもたちの現状への理解や保護者の意識の改革のためには長期的な事業の継続が必要だと思います。期待される効果という点では、保護者にとって地域の様々なサービスへの理解が進んだと思います。子どもたちが様々な問題を抱えたときに、相談する窓口の存在を知っていることが早期対応につながることを多くの方にご理解いただきました。	
〔自己評価〕		
<input type="checkbox"/> できた <input checked="" type="checkbox"/> 概ねできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> ほとんどできなかった		
<b>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</b>		
まずはNPO支援センターの方々に私共の活動を支援いただいたことに感謝を申し上げます。当初区民センターのみでの開催を予定していましたが、NPO支援センター内の会議室を無償で使用させていただきセンターの方々とつながりを持つに至ったことは、今後の事業の継続に大きな力となりました。また、区報への掲載を通してご担当いただいた方々にも日頃のフリービーの学習支援事業にもご理解いただく機会となり講師や生徒へもフリービーの学習支援事業をご紹介いただいております。地域では、講演会に参加できなかった方々にもチラシやHPを通してフリービーの存在を知って頂く機会となり、引き続きご寄附が広がっております。		
〔自己評価〕		
<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> 広がらなかった		

4 事業の公開と「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

普及活動等	HP上とチラシに「杉並区NPO支援基金」の助成事業であることを記載いたしました。また各講演毎に受付に「杉並区NPO支援基金」のパンフレットを置き、参加者に手渡しました。
-------	--

5 今後の課題と活動について

今後の課題と活動	参加者数が当初の見込みより少なく、一番の課題は広報だったと思います。区報だけに頼るのではなくもっと有効なチラシの配布方法や、個々の講演会の開催を知らせる他の方法も考慮が必要です。また時間帯についても講演の内容によっては、参加者の年齢や生活状況を考えて、休日や昼間の時間帯の開催も考えていきたいと思っています。
----------	--

6 活動状況について



## 7 収支決算

事業費	226,250	補助金額	190,000
-----	---------	------	---------

収入		予算額	決算額	決算額内訳
	団体負担金	194,500	36,250	団体負担金@36,250円
	参加費・資料代等			
	その他の収入			
	NPO支援基金助成	190,000	190,000	
	計	384,500	226,250	

支出	費目	予算額	決算額	決算額内訳
	報償費	116,000	115,000	講師謝礼@10,000円×3名×1回=30,000円 講師謝礼@20,000円×3名×1回=60,000円 講師謝礼@25,000円×1名×1回=25,000円
	旅費	8,000	8,000	交通費@1,000円×5名×1回=5,000円 交通費@3,000円×1名×1回=3,000円
	備品費・消耗品費	170,000	73,500	チラシ作成代@26,250円=500円×500枚+消費税 HPニュースページ作成料@21,000円 アンケート作成及び印刷代@26,250円
	役務費	52,000		
	使用料・賃借料	12,500	5,750	会場費@2,650円×1回、@3,100円×1回
	その他の経費	26,000	24,000	ボランティア実費弁償等@2000円×12名
	計	384,500	226,250	